



2010年10月29日

報道関係者各位

慶應義塾大学医学部

**国内医学関連学会では初めての試み iPhone アプリを利用して学会を開催
- 学会で、今、進行中の演題が検索できる、
Twitter と連動してネットディスカッションができる -**

平成 22 年 10 月 18 日 (月) から 20 日 (水) の 3 日間、パシフィコ横浜にて、第 23 回日本内視鏡外科学会総会 (会長: 森川康英 慶應義塾大学小児外科教授) が開催されました。この学会では、国内医学関連学会では初めての試みとして、学会員を対象に学会プログラム・抄録を iPhone 無料アプリケーションからダウンロードできる企画を実施しました。

主な機能のポイント

1. 「今の演題」の検索・表示が可能
2. Twitter と連動してネットディスカッションができる

抄録検索機能以外の便利な機能もあり、今後の学術集会のありかたをも変えうる新しい試みとして注目されています。今回の学術集会のテーマは「未来を拓く内視鏡外科 ~ 異端と先導 ~ 」というテーマであり、医学関連学会では初めての試みを実施しました。

1. ソフト開発の背景

学会抄録の iPhone アプリケーションは、医学関連学会としては昨年米国の「内視鏡外科学会」に登場しましたが、実際には使い勝手が悪く、そのままでは実用的ではありませんでした。しかし、日本内視鏡外科学会の開催にあたっては、学会場に重たい抄録集を持ち込まなくてすむというだけでも、モバイル端末のデータベース提供は十分意味があると考え、学会員を対象とした学会抄録の iPhone アプリケーションの実用に向けて検討を重ねました。その結果、抄録検索機能以外の機能を付加することで、紙ベースのプログラムとまったく違った使い方ができるのではないかと、この結論に至り、このたび、第 23 回日本内視鏡外科学会総会では、独自に開発したアプリケーションを利用しました。

開発の過程でさまざまなアイデアが盛り込まれ、きわめて便利なツールとして学会員に高く評価されました。

2. 開発ソフトの内容

第 23 回日本内視鏡外科学会総会の全発表抄録の検索ができます。主な機能は次の 2 点です。

(1) 「今の演題」の表示が可能

今までは、学会員が、会場に到着して、今現在行われている演題について調べるとき、抄録集を開き、日程表を調べ、該当ページを探す必要がありました。しかし、このソフトを使用すると、iPhone アプリケーションのツール「今の演題」のボタンひとつで、今現在進行中の演題がすぐに表示されます。

(2) Twitter と連動したネットディスカッション

抄録画面の t ボタンを押すと、ハッシュタグが自動生成されて、Twitter への登録がすぐできます。

そのほか、下記のような、便利な機能が付加されています。

- (3) 演者検索 異体字への対応のため読みがなでも検索可能
- (4) 抄録検索 演題番号、演題名、抄録から検索可能
- (5) 所属検索
- (6) 司会者検索 異体字への対応のため読みがなでも検索可能
- (7) カテゴリー検索
- (8) 設定画面で抄録本文の大きさ変更可能、最新情報配信メール登録、アンケート画面へのリンク

3. 学会での使用状況～日本初の試み～

1万人を超える学会員を擁する日本内視鏡外科学会ですが、本年度開催された、第23回日本内視鏡外科学会総会には約3,500人が来場しました。実際にダウンロードされたのはその1割程度(333回)でしたが、学会の理事といった、コアメンバーにも受け入れられ、高い評価を得ております。

4. ソフトの意義と今後

(1) ツール：「今の演題」

「今の演題」は、実際の学会場では実に便利なツールです。特に同時に多くの会場で演題が発表される今回のような学会では、学会員は、ひとつのセッションをずっと聞くというより、A会場のX先生の発表を聞いてから、B会場のY先生の発表を聞いて、それからC会場のZ先生の発表を聞きたい、というように、演題ごとに会場を移動しながら参加することが多いのが特徴です。その場合、重たい抄録集を持ち込むことなく、iPhoneひとつを操作しながら、簡単に会場のチェック、移動のタイミングなどが図れるなどの利点があります。これらの機能は、ほかの学会運営でも役立つ便利な機能です。

(2) Twitter 機能

Twitter はあまり意味のない内容がリアルタイムにつぶやかれている、というイメージがありますが、一部に、志をもった人達が、自分の考えを实名で訴えるということが行われるようになってきました。この傾向は、知的活動をしている人達に顕著です。学会のような学術活動の場では、使い方さえわかれば、広まりうる手段です。

日本内視鏡外科学会は、器械を駆使した外科手術を推進する学会であり、新しい技術（ITも含めて）を積極的に吸収しようという気運にあふれているため、twitterのような新しいコミュニケーション・ツールへの抵抗感も低いと考えられます。今後、このツールが医療従事者にさらに利用されるようになれば、多くのユーザー（学会員）が、学会の発表を聞きながら、その場で实名により、自分の意見を発信するようなことも可能です。

手を挙げて、マイクの前に立ち、話すほどでもないが、という意見の中に、重要なメッセージが隠れていることも十分に考えられます。「いまは、決してメジャーな考え方ではないけれども、でも今後はこうなる」という「つぶやき」が、新しいヒントを生む可能性も十分あります。

ご取材の際には、事前に下記までご一報くださいますようお願い申し上げます。

本リリースは文部科学記者会、文部科学省科学記者会、厚生労働記者会、厚生日比谷クラブ、総務省記者クラブ、経済産業記者会、各社科学部等に送信させていただいております。

本発表資料のお問い合わせ先

慶應義塾大学医学部 小児外科 専任講師 星野 健（ほしの けん）

TEL：03-3353-1211 内線62328 FAX：03-3356-8804 Email：hoshino@sc.itc.keio.ac.jp

慶應義塾大学医学部 一般・消化器外科 助教 和田 則仁（わだ のりひと）

TEL：03-5363-3802 FAX：03-3355-4707 Email：nori-kkr@umin.ac.jp